高津区おはなしアーカイブ

●三田　千枝子（みた　ちえこ）さん
昭和３年生まれ　８７歳
川崎市高津区上作延在住

◆ご実家のこと

私はここで生まれて、兄妹は４人でした。私は長女で、下に弟、妹、妹。すぐ下の妹は亡くなっちゃたけど、弟と末の妹は元気にやってます。

農家だったから、子どもたちは草むしりとか稲刈りとかやらされたんだけど、私だけは甘やかされて、お手伝いしなかったのよ。

私ひとり自転車に乗って高津高校に行ってたの。

その頃、婦人乗りの自転車ってのが出始めたでしょ。父がね、その新しい自転車を買ってくれたの。まだ入荷したばっかりのを一番先に買ってもらったのよ。

妹たちが羨ましがってね、お姉ちゃんばっかり可愛がってずるいって、随分言われたわ（笑）。

◆学校のこと

そのころの小学校は、尋常高等小学校って言ってね、６年生の後もう２年あったの。

私が通った小学校は向丘尋常高等小学校よ。あそこまでみんな歩いて通ったの。あの頃はバスなんかなかったからね、雨が降っても雪が降っても歩いてね。あそこまで行くのに３０分もかかったんですよ。

雨がひどい時は川が氾濫してね、両脇は竹林で、堤防なんて今みたいに立派にしてなかったでしょう？それだもんで溢れてきちゃうの。そうすると危ないからってね、消防団の人が来て、綱で引っ張って渡らせてくれるの。何回そういうことがあったか。

学校では国語や算数、今と同じですよ。教育勅語とか修身なんてのもやりましたね。その頃の友達は、もう生きてる人が残り少なくなっちゃったわね。

６年が終わったら、私たちは高等女学校に進むことになったの。高津高等女学校に通ったのよ。高津の大きな十字路のところにあったの。そこまで自転車で通ったわ。

高津高校を出た後は、私ね、戸板女子を受けたの。そしたら受かっちゃってね。でも、あんまり勉強好きじゃないから、結局１年で辞めちゃった。

そのころの遊びっていうとお手玉ね。自分でお気に入りの布を縫って作る人もいました。私は縫ってもらってました。妹達は自分で縫ってたんだけどね。お手玉が上手な人は５つも６つも使ってやってましたけど、私は３つくらい。

それから、毬つきね。ゴム毬の小さいのをついて、足を上げたり、スカートの中に入れたりね。もう着物なんて着ていませんでしたよ。スカートをはいてました。

◆戦争のこと

家には大きな防空壕があってね、今でも残ってます。空襲警報が鳴るその度に入ってました。近所の人も皆一緒にね。

６２部隊ってのが近くにあったから、空襲警報は昼でも夜でもしょっちゅう鳴ってましたねぇ。おっかなかったですよ。でも防空壕の中は近所の人も一緒だから賑やかでした（笑）。

焼夷弾を落とされたことはなかったですね。

高等学校の頃は、勉強しないでほとんど学徒動員で働きに行ってました。日本光学で、作業着に神風の鉢巻きをしてレンズを磨いていました。お昼は雑炊を出してくれましたね。

日本光学の学徒動員には、ずいぶんいろんな学校から来てましたよ。日本光学にも大きな防空壕がありましたね。

高等学校の免状もらっても、何にも勉強できてないんですよ（笑）。今の人はいいですね、勉強ができるんですもんね。

◆結婚のこと

結婚はね、ずいぶん親に反対された結婚だったの。見合いじゃなくてね、村の人とね。馴れ初めは何だったかしらね。

そのころクラブってのがあってね、まあ、集会所ですよ。そこに若い人が集まってね、いろいろお喋りしてたの。私もそこへ行くようになってね、そこで亡くなったお父さんと出会ったのよ。３つ年上だったんだけど、なんだか随分気が合ってね。

でも、縁談となると昔のことだから、親からは身分違いだって反対されたの。私の家は地主だったけど、お父さんのところは地主じゃなかったからね。でも、最後には所帯持たせてくれたんだけどね。お祖父ちゃんが話の分かる人で、一緒にさせてやれって言ってくれたの。いいお祖父ちゃんだった。小さい頃から可愛がってくれたの。

お父さんは勤め人で、東急バスに４０年勤めていたの。だから家族で東急バスに乗っていっぱい旅行に行きましたよ。

◆青年団のこと

お父さんと出会ったクラブってのは、青年団がやっててね、村芝居の練習なんかもやってました、私がやったのは踊りね（笑）。

踊りっていっても、本舞踊じゃなくて音頭とか“おてもやん”とか、そういうの。

衣装だって普段の着物に鉢巻きをしてね。男の人もよく踊ったわよ。

それで、そういう素人芝居を神社のお祭りでやるの。神社が２つあって、毎年交代で、つまりそれぞれの神社では１年おきになるわけね。

秋祭りの時に神社の境内に舞台を作って、客席には筵を敷いてね。昼間はお神輿担いだりして、演芸は夜にやってました。

演目を何にするかは、やる人が自分たちで考えるの。

芝居の衣装は借りてましたよ。ちゃんと衣装屋さんが来てくれて、男の人たちは侍の格好とかするんだからね。小道具なんかも貸してくれるのよ。

芝居は自分たちで創ってましたよ。で、その練習をしょっちゅうクラブに集まってやるもんだから、皆がクラブで仲良くなっちゃうわけよ（笑）。

青年団のクラブでは、忘年会や新年会もやったの。皆で踊ったり歌ったりして、面白かったですよ。

このあたりのお正月の料理っていうと、てんぷらだとか、煮物だったわね。餅つきは自分の家でやるのよ。お祭りの時にはお赤飯を作って、親戚に配ったりしたわね。

◆お店のこと

駄菓子を売っているこのお店はね、小学校ができた時に、私のためにお祖母ちゃんが作ってくれたの。だから４０年やってるの。小学校と同じよ。それまで何も仕事をやったことがなかったから、駄菓子屋さんをやるのももちろん初めて。

始めた頃からお菓子の種類はあまり変わってないわね。値段は変わったけどね。今でも子どもたちが遠足のお菓子なんか買いに来ますよ。

ただね、近頃はスーパーができたから、昔ほどじゃなくなったわね。昔は遠足の前っていうと、子どもたちが店の前に並んで大変でしたよ。

今はね、このお店は息子と２人でやってます。息子は以前は塾をやってたんだけど、店では駄菓子だけじゃなくてタバコも売るようになったから、そっちは息子が全部やってるの。

弟も近くにいるし、末の妹もこの近くに越そうかななんて言ってるから、これからは身内が寄りあって、のんびり楽しくやっていこうかしらね（笑）。

（平成２７年１０月１６日取材）